

- ◇北京 2022 オリンピック冬季大会が終了し、気が付くと三月です。本 3 号より、冊子ではなく電子版「ぶんせき」による配信がスタートし、情報配信のスタイルが時代の流れに合わせて変化しています。
- ◇新型コロナ感染症拡大防止のため、機関誌「ぶんせき」編集委員会の開催スタイルも、オンライン開催がスタンダードになり 2 年が経過します。WEB 会議は誰もが「ドラえものどこでもドア」を手に入れた状況、という名言をおっしゃるのは、北海道支部副支部長 坂入正敏先生で、今号の「とびら」の中で執筆なさっています。「どこでもドア」を手に入れたい、という憧れを持ったことがある人は多いのではないのでしょうか。
- ◇2022 年 5 月 14 日（土）、15 日（日）開催の第 82 回分析化学討論会のオンラインによる事前参加登録は始まっていて締切は 4 月 13 日（水）です。お早目の登録をお待ちしております。
- ◇今号の「リレーエッセイ」の中で佐藤雄介先生（東北大院理）がおっしゃる「コロナ禍のためオンサイト学会に参加できない状況はとても辛く」と共感する読者は多いのではないかと思います。
- ◇新型コロナワクチン接種 3 回目も始まり 5 月の討論会の頃は感染者数のピークを脱していることを願ってやみません。開催予定地である茨城大学水戸キャンパスでお会いしたいですね。 [A. T.]

- 〈とびら〉
研究開発の道のり……………村松康司
- 〈入門講座〉 レーザーを用いる分析技術
レーザー誘起ブレイクダウン分光法の基礎と
産業プロセスへの応用……………出口祥啓
- 〈解 説〉
食品産業における MALDI-MS 微生物同定の展開……宮下 隆
- 〈ミニファイル〉 衛生と安全
安全な水の供給と浄水処理……………川崎直人
- 〈話 題〉
シングルセルでどこまで分かる？
～1 細胞質量分析の現状と展望～ ……………水野 初

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)		
〈副委員長〉 菅 寿美 (海洋研究開発機構)		
〈理事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)		
〈幹事〉 加藤大 (昭和大薬)	東海林 敦 (東京薬大薬)	菅沼こと (帝人 (株))
富岡賢一 (三菱マテリアル(株))		
〈委員〉 井倉則之 (九大院農)	上原伸夫 (宇都宮大工)	江坂幸宏 (岐阜薬科大学)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	沖野晃俊 (東工大未来研)	齊藤和憲 (日本大学生産工)
坂牧 寛 (化学物質評価研究機構)	佐藤 久 (北大院工)	高橋あかね (オルガノ(株))
田中佑樹 (千葉大院薬)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
中原佳夫 (和歌山大システム工)	野本知理 (千葉大院工)	東 恭平 (東理大薬)
藤森英治 (環境調査研修所)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
宮下振一 (産業技術総合研究所)	村居景太 (株共立理化学研究所)	村上良子 (山口大院創成)
森山孝男 (株リガク)		

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3 階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2022 年 第 3 号 (通巻 567)

2022 年 3 月 1 日印刷 定価 1,000 円
2022 年 3 月 5 日発行 送料 87 円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2
五反田サンハイツ 304 号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX : 03-3490-3572 振替口座：00110-8-180512

© 2022, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。